

★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介 ①

のうもっちゅう

脳卒中、脳腫瘍、頭の外傷（脳挫傷など）、硬膜と脳の間に起こる急性・慢性

のうざしゅう

硬膜下血腫、硬膜と頭蓋骨の間に起こる急性硬膜外血腫などの治療を行う脳神経外科。脳神経外科長の伊藤健司医師（写真：右）にお話を聞いてみましょう。

のうしんけいげか

☆脳神経外科編☆

こうまく



Q 脳神経外科では、主にどんな病気を治療するのですか？

A 日本人に多い病気の一つ、**脳卒中**の治療を主に行っています。脳の血管の病気で、その中には脳の血管が詰まる**脳梗塞**、脳内へ出血する**脳出血**、脳を包むくも膜と脳との間に出血する**くも膜下出血**があります。これらは、病気によって手術やお薬による治療となります。

Q 脳卒中は、どんな症状がありますか？

A 脳卒中に関わる人たちの間では、**アクトファースト**という言葉が「かけ声」のように使われています。次のような症状が出たら、行動しましょう（**ACT**）というものです。

Fは**Face**（フェイス）で「顔」。笑ったときに顔の片側に麻痺があるなどの症状。

Aは**Arm**（アーム）で「手」。手を上げて、力が入らないなどの症状。

Sは**Speech**（スピーチ）で「会話」。会話が変だとか、ろれつが回らないなどの症状。

Tは**Time**（タイム）で「時間」。これらの症状が出たら治療するまでの時間が重要です。「様子をみて、次の日になったら…」ではなく、急いで脳神経外科や救急外来で受診してください。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※昨年連載した「ここが知りたい！米沢市立病院紹介」。好評につき、さらに10回連載します（毎月1日号に掲載）。